愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門プロジェクトⅠ		
担当者(Instructors)	上條 憲二	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

メディア環境が激変する中で、テレビの視聴率が低下し、いわゆる「テレビ離れ」現象が起きている。特に、若年層にその傾向が顕著である。この授業では、地上波のテレビの在り方を考える。授業に当たっては中京テレビとコラボレーションすることにより、テレビ局の現業分析を踏まえ、若年層に対するテレビ番組の方向性などを考える。さらに、中京テレビ、日本テレビ、産業能率大学との連携も考えている。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	分析、議論、企画立案、プレゼンテーション(中京テレビに対して)を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	演習のブリーフィング	演習のテーマ、進め方、成績評価について説明する。 各自の自己紹介。	□
第2回	現代のメディア環境に関する分析	現代のメディア環境について、各自分析する。	□
第3回	現代のメディア環境に関するディスカッション	各自の分析を報告し、議論する。特に、テレビ局の課題について話し合う。	□
第4回	中京テレビ研究	地元の放送局である中京テレビについて各自研究する。	□
第5回	中京テレビ	中京テレビについての研究を発表する。	□
第6回	テレビと視聴率	中京テレビ・編成・内藤氏よりレクチャー	□
第7回	これからのテレビ番組の在り方についての研究。	これからのテレビの在り方について各自の考えを発表する。	□
第8回	テレビ番組の現状と今後の在り方	中京テレビ・編成・内藤氏よりレクチャー	□
第9回	テレビ番組企画立案	テレビ番組を企画立案する。	□
第10回	テレビ番組企画立案	テレビ番組を企画する。	□
第11回	中京テレビに対する企画提案議論し、再検討する。	課題と方向性に基づき、テレビ番組企画をまとめる。	□
第12回	テレビとジャーナリズム	ジャーナリズムとしてのテレビの在り方を研究する。	□
第13回	テレビと地域社会	地域社会に対するテレビ局の役割を研究する。	□
第14回	中京テレビに対する番組企画提案	自分たちの番組企画を中京テレビにプレゼンする。	□
第15回	前期のまとめおよび後期の課題確認	前期の活動を総括し、後期の課題を確認する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・演習前にテーマについて2時間、予習する。 ・1週間の間に、テレビ番組、新聞記事などメディアに関する情報を収集する。2時間。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・演習の課題について、その都度、「評価点」「課題点」「方向性」を指摘する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

	◇ 2018地域ビジネスDP2	企業経営を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。企画提案に関して基礎的な知識をも知識を得る。さらに自らの経験に基づき、問題を的確に判断できる。
	◆ 2018地域ビジネスDP3	ディスカッション、グループワークを通じて多様な人々の中で自己を理解し、主体的に他者と協同して問題を解決することができる。さらに、様々な個性・利点・問題点を抱えた地域ビジネスを通じ、多様な人々と協働し、地域とつながり、地域社会の活性化・発展に貢献できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・中京テレビの番組を企画し、演習内、および中京テレビに対してプレゼンテーションする。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		